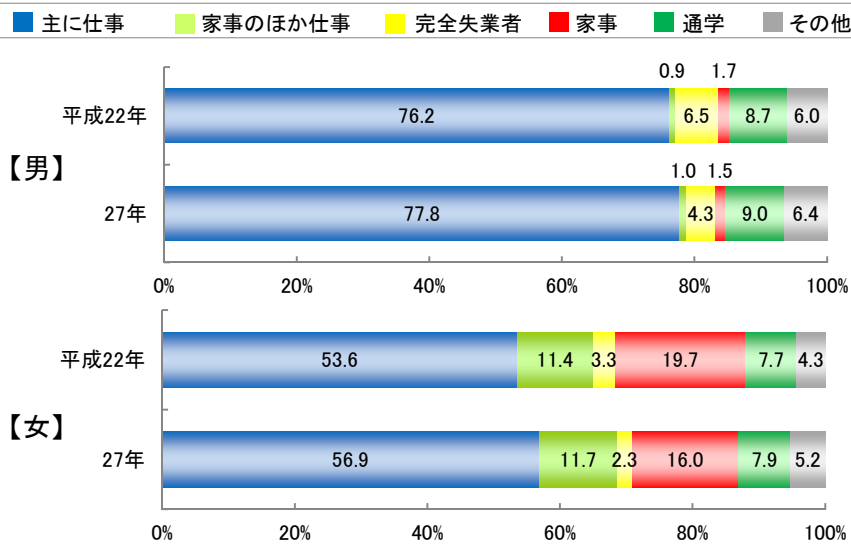


# 平成27年国勢調査でみる鳥取県

## ～労働力状態と従業上の地位～

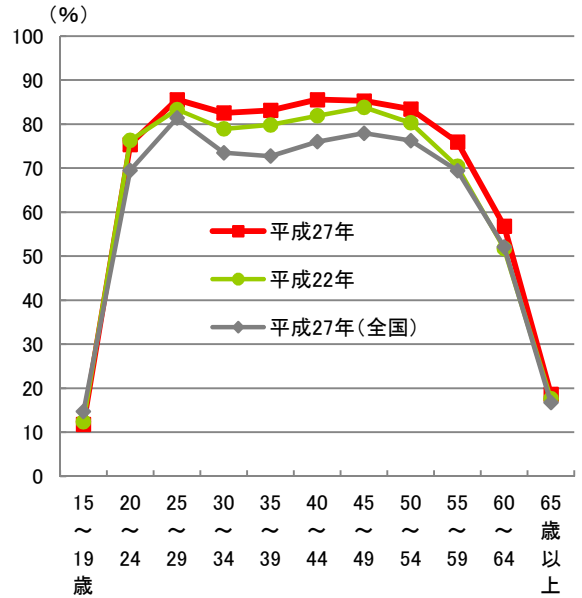
国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われています。

### 労働力状態別男女別人口の割合（15～64歳）



(注)労働力状態「不詳」を除く。

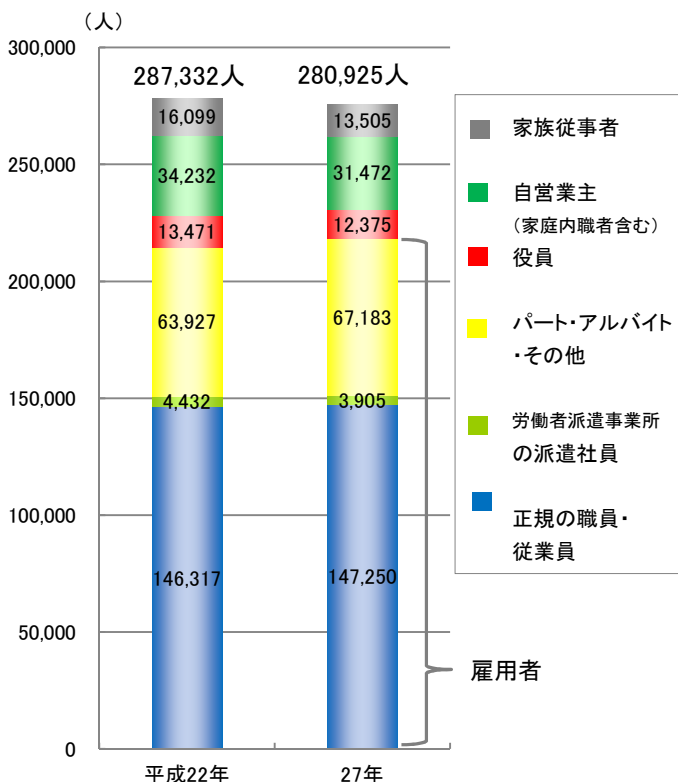
### 女性の年齢別労働力率



平成27年の15～64歳の人口を労働力状態別にみると、男性は「主に仕事」が77.8%で、平成22年と割合に大きな変化はありません。女性も最も多いのは「主に仕事」ですが、平成22年から27年で3.3ポイント増となっています。また、「家事」の割合は3.7ポイント減となっています。

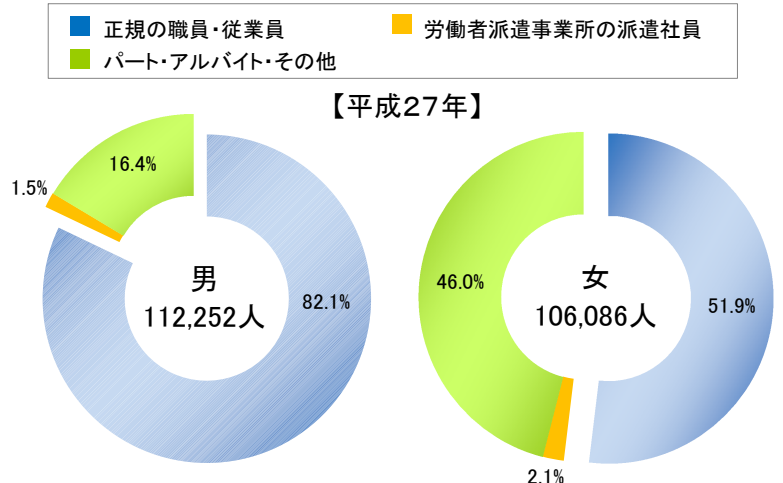
鳥取県の女性の労働力率をみると、全国と比べ全体的に高くなっています。30～34歳を谷とするM字カーブも、5年前に比べ緩やかになっています。

### 従業上の地位別就業者数



(注)就業者総数には、従業上の地位「不詳」を含む。

### 従業上の地位男女別雇用者数の割合



雇用者のうち「正規の職員・従業員」は147,250人で、平成22年に比べて933人増加しました。また、「派遣社員」と「パート・アルバイト・その他」の合計は71,088人で、平成22年に比べ2,729人増加しました。

雇用者の内訳を男女別にみると、男女ともに「正規の職員・従業員」の割合が最も高くなっています。